

[成果情報名] 4月出し小輪系アスターにおける低温管理が可能な品種

[要約] 4月出し作型における小輪系アスターの品種「ネネホワイト」、「ネネバイオレット」、「ネネローズ」は、定植から花芽分化後までの夜温管理を 10℃ としても、品質が劣ることはなく低温管理が可能である。

[キーワード] アスター、温度管理

[担当] 総合農林試験場・野菜花き部・花き科

[連絡先] 電話 0957-26-3330、電子メール inoue@pref.nagasaki.lg.jp

[区分] 花き

[分類] 指導

[背景・ねらい]

小輪系アスターは、15℃ 以下で栽培すると奇形花が発生し易いといわれている。しかし、最近、切り花の市場価格が低迷する情勢にあるため経営コストの低減が求められている。

そこで、品質に大きな影響を及ぼさないとと思われる花芽分化後までを夜温 15℃ 以下で管理しても品質低下がみられない品種の検索を行う。

[成果の内容・特徴]

- 1 . 「ネネホワイト」、「ネネバイオレット」、「ネネローズ」は、花芽分化後までを夜温 10℃ 、その後の夜温を 15℃ で栽培しても、品質は劣らない。特に「ネネバイオレット」は 15℃ 一定管理と比較しても採花時期、品質共に同等である（表 1）。
- 2 . 「ステラホワイト」、「ステラスカーレット」、「ステラトップブルー」は、15℃ 一定栽培、10℃ - 15℃ 栽培共に切花長・切花重も十分ではなく品質が劣る（表 1）。
- 3 . 各品種とも花芽分化後までを夜温 10℃ で栽培しても奇形花の発生はみられない。

[成果の活用面・留意点]

べと病、灰色カビ病等にかかりやすいので、3～4月には換気に気をつける。

[具体的データ]

表 1 アスターの栽培温度の違いによる採花期と切り花品質

品 種	栽培夜温	採 花 期	切り花長	切り花重	分枝数	奇形花率
ステラホワイト	15 一定	4/ 5 ~ 4/16	52.6cm	61.5 g	6.0本	0%
	10 - 15	4/ 5 ~ 4/22	60.3	77.5	6.3	0
ステラスカーレット	15 一定	4/ 5 ~ 4/10	57.1	71.0	8.0	0
	10 - 15	4/ 5 ~ 4/10	56.7	79.0	8.8	0
ステラトップブルー	15 一定	4/10 ~ 4/22	67.5	77.4	9.5	0
	10 - 15	4/10 ~ 4/22	60.8	78.7	8.9	0
ネネホワイト	15 一定	4/ 5 ~ 4/26	72.0	98.2	10.5	0
	10 - 15	4/10 ~ 4/24	71.3	85.0	7.2	0
ネネハイオレット	15 一定	4/22 ~ 5/ 1	87.0	84.9	12.7	0
	10 - 15	4/24 ~ 4/30	88.0	83.3	11.2	0
ネネロース	15 一定	4/10 ~ 4/26	75.3	104.5	8.1	0
	10 - 15	4/24 ~ 5/ 8	89.1	109.5	11.2	0

播種：12月10日、 定植：1月16日

10 - 15 : 定植～花芽分化後 = 夜温 10 、それ以降(3月20日)夜温 15

電照期間：1月16日～3月31日

[その他]

研究課題名 : アスターの高品質生産技術の確立

予算区分 : 県単

研究期間 : 2001～2003年度

研究担当者 : 井上優子、松尾崇宏